



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 第一工業製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4461 URL <http://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大柳 雅利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員財務本部長 (氏名) 浦山 勇

TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	26,848	△9.7	920	△30.5	665	△38.6	266	△23.8
24年3月期第2四半期	29,747	16.9	1,323	△13.2	1,083	△22.3	349	△19.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 147百万円 (△75.1%) 24年3月期第2四半期 592百万円 (318.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.24	—
24年3月期第2四半期	8.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	50,558	16,765	31.5	373.00
24年3月期	51,357	16,949	31.4	377.77

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,917百万円 24年3月期 16,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	△4.0	2,300	13.1	2,000	14.8	900	444.7	21.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料P. 5「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	43,421,609 株	24年3月期	43,421,609 株
25年3月期2Q	748,646 株	24年3月期	748,646 株
25年3月期2Q	42,672,963 株	24年3月期2Q	42,673,659 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) セグメント情報等	12
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や震災復興需要が内需を下支えしてきましたが、世界景気の減速等を背景として景気は弱めの動きに転じております。さらに、中国など対外経済環境を巡る不確実性とといったリスクもつきまっております。

化学業界におきましても、原油・ナフサなどの資源価格の動向は引き続き予断を許さず、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、この厳しい事業環境を乗り切るため、コア製品事業の拡販に努めますとともに、将来の成長分野である「環境」、「エネルギー」、「電子材料」、「生活資材」などの分野を中心に新規市場の開拓や新素材の開発に取り組み、原材料の安定的な確保や適正な採算確保、新コスト削減計画による総経費の削減などに取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、長引く欧州債務問題や中国などの景気減速感が国内外に強まるなど需要が低迷し、売上高は、ゴム・プラスチック用途などの『界面活性剤』は好調に推移しましたが、地球環境保護の動きに対応した電子部品材料用途の導電性ペーストなどの『電子デバイス材料』が顕著に落ち込みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億68億48百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。

損益面につきましては、営業経費の削減効果はありますが、売上高の減少に加え価格競争の激化や設備投資に伴う固定費の増加が利益を圧迫し、営業利益は9億20百万円（前年同四半期比30.5%減）となりました。また、円高による為替差損の発生や金融費用の増加などもあり、経常利益は6億65百万円（前年同四半期比38.6%減）となりました。これに固定資産の減損損失や税金費用を差し引きしました結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は2億66百万円（前年同四半期比23.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて好調に推移しました。

国内では、トイレタリー用途の活性剤はやや低迷しましたが、ゴム・プラスチック用途の活性剤は大幅に伸長し、金属用途の活性剤は順調に推移しました。

海外では、ゴム・プラスチック用途の活性剤は堅調に推移しましたが、繊維用途の活性剤はやや低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は9億87百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

営業利益は、売上高の増加や営業経費の削減が功を奏し4億47百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

<アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じてやや低迷しました。

国内では、セルロース系高分子材料は飼料用途が伸長し、食品用途は堅調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは化粧品用途や食品用途が堅調に推移しました。

海外では、セルロース系高分子材料は医薬品用途や食品用途が低調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途が堅調に推移しましたが、化粧品用途は低迷しました。

その結果、当事業の売上高は3億596百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減に努めましたが、低操業に伴う固定費負担の増加や資源価格が高水準で推移し利益を圧迫しましたことから1億79百万円（前年同四半期比13.6%減）となりました。

<ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて低迷しました。

東日本大震災による需要の落ち込みはほぼ回復し、ゴム・プラスチック用途や建築用材料は好調に推移し、重防食塗料用途も順調に推移しましたが、岩盤固結剤は公共工事の減少により大きく落ち込みました。

その結果、当事業の売上高は40億6百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。

営業利益は、売上高の減少に加え低操業に伴う固定費負担の増加が利益を圧迫し40百万円（前年同四半期比79.2%減）となりました。

<機能材料>

機能材料の売上高は、総じて低迷しました。

国内では、臭素系の難燃剤はデジタル家電用途が低調に推移しました。光硬化樹脂用材料は、電子材料用途がやや低調に推移しました。水系ウレタン樹脂はフィルム用途は堅調に推移しましたが、鋼板向け用途はやや低調に推移しました。

海外では、光硬化樹脂用材料は新規開発が実り堅調に推移し、水系ウレタン樹脂も好調に推移しましたが、台湾の主力子会社のリン系の難燃剤は電気・電子材料用途が顕著に落ち込みました。

その結果、当事業の売上高は51億94百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減に努めましたが、価格競争の激化や売上高の減少に加え原材料価格の高騰が利益を圧迫し1億98百万円（前年同四半期比49.4%減）となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて顕著に落ち込みました。

地球環境保護の動きに対応した電子材料用途の導電性ペーストは顕著に落ち込みました。射出成型用ペレットや機能性無機材料はやや低迷しました。

その結果、当事業の売上高は41億63百万円（前年同四半期比37.5%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減に努めましたが、売上高の顕著な落ち込みが響き53百万円（前年同四半期比62.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて7億98百万円減少し、505億58百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が3億75百万円増加しましたが、商品及び製品などのたな卸資産の合計が6億62百万円、建物及び構築物などの有形固定資産の合計が2億92百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べて6億14百万円減少し、337億93百万円となりました。その主な要因は、リース債務（流動負債）が7億55百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が2億81百万円、長期借入金が2億円、リース債務（固定負債）が9億2百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1億83百万円減少し、167億65百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払2億98百万円と当四半期純利益2億66百万円の計上などにより、利益剰余金が32百万円減少したことやその他有価証券評価差額金が1億97百万円減少したことなどによるものです。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末と比べて0.1ポイント改善し31.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比べ2億8百万円減少し、52億62百万円となりました。

営業活動により、資金は16億73百万円増加しました。これは、売上債権の増加3億55百万円、仕入債務の減少2億87百万円、法人税等の支払2億65百万円などにより資金は減少しましたが、税金等調整前四半期純利益5億9百万円、減価償却費10億3百万円、たな卸資産の減少7億円などにより資金が増加したことによるものです。

投資活動により、資金は9億70百万円減少しました。これは、有形固定資産の取得8億50百万円、投資有価証券の取得1億20百万円などにより資金が減少したことなどによるものです。

財務活動により、資金は8億97百万円減少しました。これは、長期借入金の新規借入10億円により資金が増加しましたが、長期借入金の返済12億87百万円、リース債務の返済2億1百万円、配当金の支払2億79百万円などにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年10月29日付で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,470,831	5,262,820
受取手形及び売掛金	12,843,524	13,218,905
商品及び製品	6,624,944	6,025,314
仕掛品	41,292	42,249
原材料及び貯蔵品	1,754,394	1,690,527
前払費用	209,041	207,537
繰延税金資産	306,629	313,128
その他	1,025,620	1,131,616
貸倒引当金	△10,901	△11,859
流動資産合計	28,265,377	27,880,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,874,346	7,667,332
機械装置及び運搬具（純額）	3,363,546	3,134,837
工具、器具及び備品（純額）	475,240	457,793
土地	5,018,626	5,021,533
リース資産（純額）	1,812,508	1,664,499
建設仮勘定	451,078	756,951
有形固定資産合計	18,995,346	18,702,947
無形固定資産		
その他	505,086	491,414
無形固定資産合計	505,086	491,414
投資その他の資産		
投資有価証券	2,637,990	2,591,976
長期貸付金	27,819	26,255
長期前払費用	305,468	270,862
繰延税金資産	256,246	236,327
その他	373,794	371,060
貸倒引当金	△10,000	△12,230
投資その他の資産合計	3,591,318	3,484,252
固定資産合計	23,091,751	22,678,614
資産合計	51,357,128	50,558,855

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,233,559	10,951,775
短期借入金	9,701,284	9,532,539
リース債務	428,078	1,183,510
未払法人税等	299,982	211,371
賞与引当金	438,808	467,939
環境対策引当金	4,170	4,170
未払事業所税	29,683	14,845
未払費用	220,053	248,736
その他	2,262,288	2,561,016
流動負債合計	24,617,909	25,175,906
固定負債		
長期借入金	5,999,000	5,798,100
リース債務	1,877,519	974,644
繰延税金負債	101,650	63,707
退職給付引当金	1,434,064	1,412,093
環境対策引当金	1,920	1,920
資産除去債務	70,495	70,727
その他	305,151	295,961
固定負債合計	9,789,801	8,617,155
負債合計	34,407,711	33,793,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,141,707	7,141,707
資本剰余金	5,470,211	5,470,211
利益剰余金	4,478,812	4,446,255
自己株式	△197,193	△197,193
株主資本合計	16,893,537	16,860,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△479,356	△676,624
繰延ヘッジ損益	194	△247
為替換算調整勘定	△293,793	△266,939
その他の包括利益累計額合計	△772,955	△943,812
新株予約権	13,842	16,611
少数株主持分	814,991	832,013
純資産合計	16,949,416	16,765,792
負債純資産合計	51,357,128	50,558,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	29,747,616	26,848,151
売上原価	23,981,382	21,593,983
売上総利益	5,766,233	5,254,168
販売費及び一般管理費	4,442,318	4,334,009
営業利益	1,323,914	920,158
営業外収益		
受取利息	1,441	822
受取配当金	22,452	23,419
持分法による投資利益	39,475	27,938
その他	65,494	28,641
営業外収益合計	128,863	80,822
営業外費用		
支払利息	146,240	143,914
為替差損	95,218	66,637
その他	128,233	125,246
営業外費用合計	369,692	335,798
経常利益	1,083,086	665,182
特別利益		
負ののれん発生益	42,903	—
特別利益合計	42,903	—
特別損失		
減損損失	—	133,922
固定資産処分損	24,466	22,138
投資有価証券評価損	358,196	—
段階取得に係る差損	94,704	—
特別損失合計	477,368	156,060
税金等調整前四半期純利益	648,621	509,122
法人税、住民税及び事業税	155,063	228,269
法人税等調整額	121,370	△22,975
法人税等合計	276,433	205,293
少数株主損益調整前四半期純利益	372,187	303,829
少数株主利益	22,943	37,675
四半期純利益	349,244	266,153

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	372,187	303,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	197,702	△197,047
繰延ヘッジ損益	△212	△442
為替換算調整勘定	21,485	36,322
持分法適用会社に対する持分相当額	962	4,652
その他の包括利益合計	219,937	△156,515
四半期包括利益	592,125	147,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	564,360	95,296
少数株主に係る四半期包括利益	27,765	52,017

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	648,621	509,122
減価償却費	1,088,090	1,003,131
減損損失	—	133,922
のれん償却額	9,802	9,802
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,170	3,143
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	59,223	△23,646
受取利息及び受取配当金	△23,894	△24,242
支払利息	146,240	143,914
持分法による投資損益 (△は益)	△39,475	△27,938
固定資産処分損益 (△は益)	24,466	22,138
投資有価証券評価損益 (△は益)	358,196	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	94,704	—
負ののれん発生益	△42,903	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,134,501	△355,713
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,206,369	700,444
仕入債務の増減額 (△は減少)	△666,870	△287,854
その他	△154,462	255,075
小計	1,431,041	2,061,297
利息及び配当金の受取額	29,075	22,163
利息の支払額	△147,907	△145,014
法人税等の支払額	△906,943	△265,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	405,265	1,673,381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△764,174	△850,382
有形固定資産の売却による収入	2,817	190
投資有価証券の取得による支出	△1,403	△120,419
投資有価証券の売却による収入	1,194	—
関係会社株式の取得による支出	△33,742	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,163,263	—
貸付けによる支出	△2,403	—
貸付金の回収による収入	7,097	1,843
その他	16,454	△1,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,937,423	△970,415

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,198,226	△93,281
長期借入れによる収入	2,300,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,268,000	△1,287,900
リース債務の返済による支出	△167,616	△201,434
自己株式の取得による支出	△247	—
配当金の支払額	△277,392	△279,586
少数株主への配当金の支払額	△26,876	△34,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,758,092	△897,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,249	△13,779
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	211,685	△208,011
現金及び現金同等物の期首残高	5,110,172	5,470,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,321,857	5,262,820

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：千円）

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	9,548,003	3,732,990	4,336,107	5,467,361	6,663,153	29,747,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,548,003	3,732,990	4,336,107	5,467,361	6,663,153	29,747,616
セグメント利益（営業利益）	383,422	208,358	195,766	391,435	144,931	1,323,914

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

（単位：千円）

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	9,887,527	3,596,715	4,006,388	5,194,203	4,163,317	26,848,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,887,527	3,596,715	4,006,388	5,194,203	4,163,317	26,848,151
セグメント利益（営業利益）	447,486	179,966	40,724	198,047	53,934	920,158

（注）報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

「アメニティ材料」セグメントにおいて、セルロース系高分子製品専用製造設備のうち、老朽化が激しく将来稼働する見込みがない一部の設備について廃棄処分することを決定いたしました。これに伴い、廃棄処分が決定した設備については将来のキャッシュ・イン・フローが見込めないため、減損認識時点における帳簿価額の全額を特別損失として減損損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては133,922千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。